



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わか町

志津南

NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行

志津南地区まちづくり協議会

連絡先

志津南市民センター (563-6206)

まちづくり協議会発足

新たな形で住民自治を促進



まちづくり協議会設立総会と自治連合会解散総会が3月25日に開催され、写真Ⅱ、4月1日から自治連合会はまちづくり協議会に移行することになりました。

この地区は昭和58年12月に若草三丁目から入居が始まり、28年余り経ちます。地域活動の組織は昭和59年度から志津学区自治連合会の傘下に若草町内会として発足しました。

昭和62年度に志津

南小学校が開校、また各丁目ごとに町内会を組織し、全体は若草自治会と改称しました。平成10年度には志津学区自治連合会から分離独立、志津南学区自治連合会として活動を開始して14年になります。この14年の歴史をもつ自治連合会が、新しい仕組みとしてのまちづくり協議会に生まれ変わることになったのです。

4月1日にはまちづくり協議会の平成24年度定時総会が開催され、設立総会で承認された新役員と代議員によって活動計画と予算が承認され、新しいスタートを切りました。

なお、妹尾さん(若草二丁目)

から谷口さん(若草七丁目)の監事変更も承認されました。

まちづくり協議会は、9町内会だけでなく、志津南地区で活動している各団体を加え、それらの活動を有機的・効率的・効果的に進めるために、各団体を活動分野別に5つのグループに分け、その連携を図る仕組みとなっています。

財政の観点からは、今まで各団体に個別に交付されていた補助金が、平成24年度から平成25年度にかけて、一括交付金としてまちづくり協議会に交付されることになり、その使途、内容にかんがいの自由裁量を加えることができるようになりました。

平成24年度は移行期間ととらえ、みんなで協議しながら、あるべき姿を模索していくことになり。十分ご理解いただき、住民の皆さんのご協力とご参画

をお願いいたします。

平成24年度の活動計画と予算、新町内会長の紹介は2面に掲載しています。

市民センター人事

草津市の4月1日付け人事異動に伴い、志津南市民センター(公民館)の岡本寿幸所長が市役所長寿福祉課へ、また、篠原美佐子社会教育指導員が志津市民センターへ転出。山本智香子社会教育指導員は退職となりました。新たに、木村幸雄所長(館長)、妹尾志郎さん、徳岡有香さんの3人が着任しました。

新所長は木村さん

今年度の定期人事異動で、4月1日から志津南市民センター所長兼公民館長として、お世話になります。慣れないことも多い最初はご迷惑をおかけすることになるかもしれませんが、新たにスタートしたまちづくり協議会の拠点として、また、皆様にご覧いただける市民センターとして職員がひとつになつてがんばっていきたくと思っておりますので、よろしくお願ひします。

(木村幸雄)



今年度の定期人事異動で、4月1日から志津南市民センター所長兼公民館長として、お世話になります。慣れないことも多い最初はご迷惑をおかけすることになるかもしれませんが、新たにスタートしたまちづくり協議会の拠点として、また、皆様にご覧いただける市民センターとして職員がひとつになつてがんばっていきたくと思っておりますので、よろしくお願ひします。

昨年、まちづくり協議会設立準備会の作業部会のメンバーとして一生懸命やり過ぎた(?)ように、まちづくり協議会の初代会長に推挙され、お引き受けすることになりました。よろしくお願ひいたします。

お知恵を拝借

まちづくり協議会会長
中原 勝一



一年前の自治連合会長のあいさつで、この町で今後安心して暮らしていけるような工夫が必要であり、それを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

動を担ういろんな団体が、有機的に連携して活動することで、その効果がさらに高められると思います。

また、団塊の世代の方々も今後続々と定年を迎えられることでしょう。この町には色々な職業を経験された優秀な人たちが

たくさんおられます。この豊富な人材を生かさない手はないと思います。少しでも背中を押せば、皆さんのお役に立ちたいと

思っている方々の力を結集することができるとは、そのための仕組みが必要です。それを皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。議論を尽くしながら、この一年間務めさせていただきます。

どうか皆さんのご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

平成24年度町内会長

若草三丁目



斎藤 繁夫

若草二丁目



北尾 正

若草一丁目



扇 寛

若草六丁目



増田 正

若草五丁目



小松原幸助

若草四丁目



山本 啓夫

岡本町西



岩崎 哲嗣

若草八丁目



坂田 早苗

若草七丁目



藤田純嗣郎

小中保で晴れやかに卒業式

志津南小は46人が巣立つ

くるみ保育園でも24人が



草くるみ保育園(服部登志夫園長)でそれぞれ卒業(園)式が行われました。

このうち、志津南小学校の第25回卒業式は3月19日に行われ、46人が教職員、在校生に見送られ慣れ親しんだ学び舎を後にしました。写真。

3月は別れの季節。高穂中学校(北川健校長)、志津南小学校(橋川礼子校長)、若

はなむけの言葉を贈りました。3月とはいえ冷え込みが強い体育館でしたが、卒業生、在校生による同小学校の特色である群読、心温まる歌の数々、互いの呼びかけなどが行われました。これまでの学校生活のいろいろな思い出が込み上げてきたのか、涙ぐむ児童も見受けられました。また若草くるみ保育園でも3月20日、第26回卒業式が同保育園で行われ、24人の園児が巣立ちました。卒業児たちは、礼儀正しく胸を張って入場。服部園長から一人ひとりに卒業証書が手渡されるところ園長の「おめでとう」とばに「ありがとうございまして」と元気よく応えていました。園児たちは、出席の保護者に笑顔を見せていました。

平成24年度活動計画

- 【4月】
 - 町内会費徴収(前期分)
 - 各種団体の総会
 - 緑の募金運動
- 【5月】
 - 子ども110番点検(青少年)
 - 各町内会の清掃活動
 - 夏まつり実行委員会
 - 自主防災委員会の設備点検
 - 防犯灯点検
 - 資源回収(子ども会)
- 【6月】
 - ニユースポーツ大会(体振)
 - 草津市スポーツ祭(子ども会)
 - ホタルに会いに行こう(地域協働合校)
- 【7月】
 - 志津南地区一斉清掃・剪定
 - 若草中央公園グラウンド草刈り(若寿会、ボランティア)
- 【8月】
 - 朝のラジオ体操
 - 町内学習懇談会推進者研修
 - 朝のラジオ体操
 - 宿泊体験(地域協働合校)
 - 町内学習懇談会推進者研修
 - 愛の声かけパトロール(青少年・2月まで毎週土曜日)
- 【9月】
 - 敬老会(社協)
 - 消火訓練
 - ごみ袋引換券配布
 - 資源回収(子ども会)
- 【10月】
 - 地区スポーツまつり(体振)
 - 町内会費徴収(後期分)
 - 町内学習懇談会
 - 赤い羽根共同募金
 - 平和祈念講演(社協)
 - 資源回収(子ども会)
 - 防災訓練(自主防災)
- 【11月】
 - 志津南地区一斉清掃
 - チャレンジスポーツデー(体振)
 - 市長とトーク(予定)
- 【12月】
 - 歳末たすけあい募金
 - ふれあいコンサート(社協)
- 【25年1月】
 - 左義長
 - 町内学習懇談会結果報告会(入権)
 - ふれあいパトロール(青少年 毎土曜日)
 - 書き初め大会(子ども会)
 - 新年度役員選定
- 【2月】
 - 餅つき大会(地域協働合校)
 - ふれあいコンサート(社協)
- 【3月】
 - 六年生お別れ会(子ども会)
 - スクラム発行(青少年)

平成24年度まちづくり協議会予算

収入の部

項目	金額
自治連合会繰入金	3,023,811
会費	3,350,000
町内会負担金	481,000
草津市一括交付金	1,310,130
草津市補助金	300,000
草津市自治連合会助成金	183,100
草津栗東防犯自治会支援金	25,000
ごみ問題を考える草津市民会議補助金	70,000
雑収入	1,000
合計	8,753,041

支出の部

項目	金額
本部経費	1,430,620
集会所・公園経費	420,000
暮らし安全活動	299,000
地域福祉活動	1,351,630
子ども育成活動	195,000
文化体育活動	1,510,000
環境保全活動	400,000
予備費	3,146,791
合計	8,753,041

講座で放射能の基礎学ぶ



説明に耳を傾ける参加者

志津南公民館の第2回「環境講座」が3月10日開催され、藤田学園保健衛生大学の前田壽登名誉教授が「放射能が人体に与える影響」と題して講演しました。

前田名誉教授は、スライドを使って放射能の性質、計測単位や基準、影響などについて、ていねいに説明、放射能について報道される情報に惑わされない知識とこれからの少

なくとも28年以上続く放射能問題についても、基本的な知識を解説しました。

また質疑応答では、身近な放射能の汚染、除染について質問があり、放射能に対する関心の高さがうかがわれました。

新ホームページがスタート

志津南地区まちづくり協議会（中原勝一会長）の発足に伴い4月1日、ホームページが一新

でしょう。

受講生からは東日本大震災の1年目を翌日に控え、震災と福島原子力発電所の事故について再認識をするのにより機会となり有意義な講座だったとの声が聞かれました。

されました。新しいホームページは、地域のみなさんにより活用していただけるように、親しみやすい画面を心がけていま

固定のタイトル写真と「まちかどアングル」の写真掲載していたタイトル部に替えて、動きのあるタイトル写真を採用しています。地域住民が互いに温かい心でつながり、日々の幸せな生活を育てて行くようとの願いを込めた、新しいロゴマークを作成し、地域の情報もできるだけ画像などで伝える事を目指しています。

これも、同じくサイドに見易く配置、また協議会の活動グループごとにボタンを設けて、それぞれの活動状況を分かり易く伝えられるようにしています。さらに、より広く情報を提供していただけるよう、YouTubeを取り入れたり、ブログを組み込むなど、従来にはなかった新しい試みも計画しており、一層利用していただけるよう期待しています。

言葉の葉こぼれ話

ライブル

「ライブルの語源はリバー（川）である」とはよく言われることです。本当の語源は「岸」のラテン語なのですが、そう言っても「何それ？」でおしまいです。誰もが知ってるリバーだから、みなさん「ヘー」と感心してくれ、この語源説が広まっていくわけです。

それはちょうど「ベースボールを野球と訳したのは正岡子規である」という説がすたれないのと同じことですね。



本当は中馬庚（ちゅうまかのえ）という人なのですが、「野球と訳したのは中馬なんだぜ」と言っても「誰それ?」「正岡子規なんだぜ」となるから、みなさん「ヘー」と感心して話が続

いていきます。もっとも子規は自分の本名の「のぼる」をもじって野球（の・ボール）という号も使ってますから、「野球の訳話は子規」説がすたれないのもむべなるかな、というところ

ところで「ライブルの語源は川」説では、その説明に水争いなどを例に挙げていますが、あまり納得いく話ではないように思えます。その点「川」岸説は説明の必要がありません。そもそも川岸は二つあって成り立つものであり、競い合って進んで行きます。片方の岸の強度が弱ければ押されて川は蛇行し、兩岸の強度が同じならまっすぐ流れて行き、海に注ぐまで両者は相容れることがあります。そのままライブルの意味になります。

（絵・文 村井由美子）

志津南

現在の閲覧数: 47528 人です

カレンダー

- トップページ
- 市民センター
- リンク集
- バリエーション
- サークル活動
- ボランティア活動

- まちづくり協議会総会
- まちづくり協議会名簿
- まちづくり協議会会則
- 志津南NEWS
-

QRコード
http://waka-kusa.net/

志津南で今、こんな事、あんな事...

3月19日、志津南小学校で、第25回卒業式がとりおこなわれました。46名の卒業生は、先生方、在校生に見送られ、喜びを後にしました。新しい出発の幕です。

3月25日、自治連の解散総会及び志津南地区まちづくり協議会の設立総会が、志津南市民センターで開催されました。4月1日付で、まちづくり協議会がスタートします。

まちづくり協議会

まちづくり協議会本部 町内会 暮らし委員会 地域福祉

町民委員会 文化委員会 子育て委員会

各町会では、それぞれまちづくりに不可欠な活動を展開しています。それぞれの情報は、上のボタンからリンク先を選んで確かめることができます。内容についてのお問い合わせは、各町会までお願いいたします。

PAGE TOP



- 4月15日 (日)
 - ★社会福祉協議会総会
9:00～12:00
- 4月21日 (土)
 - ☆健康ウォーキング
8:45 若草中央公園集合
 - ★同和教育推進協議会総会
19:00～
- 4月24日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
10:00～11:30
- 4月27日 (金)
 - ☆ふれあいバスツアー
10:00～15:00
ボランティア「泉」
- 4月28日 (土)
 - ☆社会奉仕
8:30 若草中央公園集合
- 5月5日 (土)
 - ☆健康ウォーキング
8:15 若草中央公園集合
- 5月8日 (火)
 - ★地域サロン：懐メロを歌う会
10:00～11:30
- 5月11日 (金)
 - ★ふれあい昼食会
12:00～13:00
ボランティア「泉」
- 5月12日 (土)
 - ★子ども会新入生歓迎会

- 毎週金曜日 ふれあい喫茶
10:00～12:00 第五集会所
- 金曜日を除く毎日
ふれあいハウス「絆」
10:00～16:00
第六集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です



ボウリングを楽しむ子どもたち

お別れボウリング大会
志津南地区子ども会は3月26日、6年生のお別れ会を開催、浜大津アークスでのボウリング大会と琵琶湖ホテルでのランチバイキングを楽しみました。今年度は6年生26人全員が参加、活気あるイベントとなりました。ボウリングでは男の子は力強く、女の子は慎重に点数に関係なく一球一球丁寧にねらい。真剣勝負の中にぎやかに楽しそうでした。

今年度を締めくくる「やすらぎ学級閉講式＆お楽しみ会」が3月14日、学級生33人が出席し彦根で開催され、今年度学級の年間報告や各サークル活動報告のあと、修了証、皆勤賞を授与し閉講式を終えました。午後からの昼食を兼ねたお楽しみ会は、学級生の歌や特技の

やすらぎ学級閉講式

ボウリング大会のあと、琵琶湖ホテルで昼食。さすが6年生運動したあととあって食欲満点、何度もお皿を運ぶ姿がみられました。帰りのバスの中ではボウリングの結果発表で盛り上がりながら到着し、楽しい一日を過ごすことができました。この「お別れ会」で23年度子ども会行事はすべて終了、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

今年度のやすらぎ学級生を次のおり募集しています。▽対象 60歳以上で市内在住・在勤の方
▽会費 千円(受講料600円を含む)その他館外研修等には実費が必要ですが、必要です。▽申し込み・問い合わせ 志津南市民センター(公民館) 電話(563) 6206 開講式は5月23日(水)で、詳細については5月号でお知らせします。

「古今東西」受講生募集

披露でにぎやかに進み、講師の村井教夫さん(若草三丁目)のギター演奏のもと、替え歌や琵琶湖周航の歌など、みんなで楽しく大きな声で歌いました。今年度の運営委員長・副委員長も選出され、4月からのやすらぎ学級での新しい仲間との出会いを楽しみに彦根を後にしました。◆ 第1回 5月30日(水) 大津市(比叡のぼと仰木棚田) 第2回 9月12日(水) 東近江市「石馬寺と教林坊」 第3回 11月13日(火) 東近江市「ヒトミワイナリーと池田牧場」 定員 30人 受講料 900円(受講料の他実費が必要です) 交通 草津市のマイクロスバス 申込 4月17日(火) 5月12日(土) 受講料を添えてお申し込みください。

対象 市内在住・在勤の人(応募多数の場合は抽選)

折々の記

志津南地区に引越して来たのは、長男が小学一年生の頃でした。子育てするのに良い環境をさがしていたところ、縁があつて若草で暮らし始めました。あつという間にそれから五年が経ち長男も高学年となり、昨年度は地域の子どもの役をさせていただきました。これまで、こういった活動をほとんどしたことがなかったのに、務まるかどうか不安で一杯でしたが、前年に務められた方からの引き継ぎをたよりにして、地域の子どもたちが楽しく過ごせるように、他のメンバーの方々と協力しあつて取り組みました。

子ども会



お知らせの手紙をつくったり、行事の段取りを決めたり、道具を揃えたり…。毎日が忙しくなりましたが、メンバーの皆さんとも仲良くさせて頂きましたし、楽しい思い出もたくさん出来ました。年間四回実施している子どもたちの資源回収で

は、朝、回収作業に担当地域に行く、家々の玄関先にそれぞれきちんとまとめていただいた新聞紙や段ボールがずらりと並んでいて、住民の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいになりました。子ども達も汗をかきながら、がんばって集めてまわりました。

このほか、夏まつりや左義長など地域の行事にも数多く参加させていただきました。そんな中、保護者はもちろん、他にもたくさんの方々が子どもたちのためにいろいろと関わってくださっていることに気が付き、子ども会の役員としてだけでなく、親としてもありがたき思いました。

子ども会

子どもはたくさんの人に出会って、そのなかで成長していきます。あたたかく見守っていただいたり、やさしい言葉をかけてくださったり、時にはわが子のように叱ってくださったり…。そういったことも知ることが出来て、この一年は本当に勉強させていただきました。お世話になった皆さま、ありがとうございました。

(若草三丁目 K・N)